

## 第5回泉南市自治基本条例検討委員会会議録

- 日 時 平成23年8月11日(木)午後6時~8時  
場 所 泉南市役所 2階 大会議室
- ・出席委員 10名
  - ・事務局 政策推進課長、政策推進課課長代理、企画係長、企画係主任

### 村田委員長より本日の議題および進行について説明

<村田委員長> 8月2日に阪南市で話を伺った中でも条例を作る過程で議論を深めたり、多くの人に知ってもらった上で議論を行うことが必要であるとわかった。また、条例を作った後も見守り、育てていくという視点が大切であることも学んだ。

さて、本日も前回に続いて具体的な作業を行うこととする。今日の次第に沿って進めていくが、議題1である条項の検討に入る前に、資料の確認と説明を事務局にしてもらいたい。

- ・事務局が当日配布資料の確認を行うとともに、資料を用いて地方議会と国会の比較から「地方自治法に規定されている議会」について説明

#### (1) 条項の検討について

<村田委員長>では前回に続いてワークショップで検討をすすめていく。各委員の役割を決め、始めてもらいたい。

- ・各グループ内での役割分担を決め検討事項として挙げられた項目について作業を行う

#### (2) 全体討議

<村田委員長>そろそろ時間がきたので各グループの討議の結果を発表してもらいたい。

## グループ1

### 【意見等】

(「議会」について)

- ・市民の代表としての自覚をもつ、権威主義的
- ・役割(市政運営の監視・チェック)
- ・議会報告  
(開かれた議会、意思決定の内容・過程をわかりやすく明らかにする、議会だよりの工夫)
- ・制度の改革  
(定数削減、予算の縮小対策、優良企業招致の特例を作る努力)

(「議員」について)

- ・資質(議会の役割と責務を十分認識する、品格を持つ)
- ・質の向上(自己研鑽する、専門性を高める)
- ・役割  
(市民の声を多く集める、市民の声を反映させる、立法活動に努める、議会での活動や自分の考えを説明する、報告の条例化)

【実現するためには】

- ・権威主義はだめ(もっと市民の近くに、市民の声を聞け)
- ・役割を果たす(政策決定と監視)
- ・議会報告  
(意思決定の過程を明らかにする、開かれた議会、議会だよりの工夫)
- ・資質(自己研鑽、専門性を高める、品格をもて)
- ・役割の自覚  
(市民の声を多く集めて市政に反映、立法活動・議員提案に努める、活動報告の義務付け)

## グループ2

### 【意見等】

(「議会の役割」について)

- ・条例・予算の議決
- ・市政の監視とけん制
- ・泉南市の有利な方向
- ・市民の意見を市政運営に適正に反映させる事

**(「議会の責務」について)**

- ・ 会議の公開
- ・ 情報の積極的提供
- ・ 市民意見に耳を傾ける
- ・ 市長の方向性を監視する

**(「議員の役割」について)**

- ・ 公明正大
- ・ 活動報告
- ・ 市民に選ばれたことを忘れないように
- ・ 議員はボランティア精神を持つこと

**(「議員の責務」について)**

- ・ 調査・議案提出活動
- ・ 公平、公正、誠実に職務遂行
- ・ 住民の意思を守る
- ・ 広く市民の声を聞く
- ・ 説明責任

**【実現するためには】**

- ・ 議員定数のアップ、報酬の半額
- ・ 議員だけで議会を開く事
- ・ 市民参加
- ・ 情報公開の徹底
- ・ オンブズマン制度の確立
- ・ 市民との対話集会を開催（説明責任）
- ・ 評価制度創設
- ・ 議会を傍聴

<村田委員長>グループ 2 の発表について 2 つ質問がある。議会の役割で「泉南市の有利な方向」とはどういうことか。

<委員> 企業誘致など 税収アップになるような政策を採ってほしいということだ。

<村田委員長>「実現するために」の中で、「市民参加」とはどういうことか。

<委員>私の意見だが、「市民との対話集会の開催」に含まれるので省いても構わない。

<委員>私は残しておいて欲しい。アメリカでは市民が議会に参加して発言できる州もある。日本でもそれが条例に謳われていればいいと思う。

<委員>では、「市民の議会参加」にしよう。

<村田委員長>各グループの発表を聞いて、何か意見はないか。

<委員>議員提案されて決まったことはかなりあるのかどうか、事務局に聞きたい。

<事務局>最近では議員定数の削減が議会による提案の条例としてあります。

<委員>そこには、給料を下げるという内容は入っているのか。

<事務局>入っていません。

<委員>定員削減には賛成しても、給料削減は議員皆に影響があるので賛成しない。

<委員>議会だよりに記載があったが定数削減に反対した議員の意見として、議員報酬を1割下げることで同じ効果があるとしている。でも、付帯の経費を考えると同じとも言えない。

<委員>それくらいしか議員提案によるものはないのか。

<事務局>最近で言えばそうです。

### (3) その他

<村田委員長>議題の1、2はここまでとする。では続いてその他案件に移りたい。阪南市の視察と委員会を5回開催しているが、ここままで何か意見があ

れば言ってもらいたい。

<委員>事務局はたいへんだろうが、会議資料をもっと早くもらえないか。

<村田委員長>委員会の要望として、事務局に努力してもらいたい。

<事務局>はい。

<村田委員長>当初、素案たたき台を作った段階で市職員やより多くの人の意見をもらい素案を練り上げていくこととしていた。私は阪南市で聴いた話などから、作成過程でいろいろな人に関心を持ってもらい、参画してもらう中で条例作りをしていくのが我々の大きな使命であるとする。そこで私からの提案だが、1つには各委員が所属している団体や周りの人たちに話を広げて欲しい。もう1つには市職員の参加について、これから市民との協働などの項目が出てくるが事業担当課の職員に入ってもらい議論できる場を作ってはどうかと思うのだが。

<委員>いいことだと思う。

<村田委員長>他に何かあるか。

<委員>ワークショップを2回やっているが、ことばの整理しかしておらず、議論ができていないのではないか。

<村田委員長>予定ではワークショップの結果を事務局にまとめてもらい、素案たたき台の形ができた段階で議論をすることになっていた。ワークショップの項目ごとに議論を行うことにはなっていなかったと思うが、事務局どうか。

<事務局>そうです。ワークショップの中で各委員の意見を出し尽くしていただき、素案たたき台を作成し、それをまた、前文からご議論いただくものと考えております。素案たたき台についても皆様からいただいた言葉を用いて作らねば、議論していただくのも逆に難しいものになってしまうと思います。

各ワークショップのまとめの資料を見ていただければ、素案たたき台についても予想していただけると思います。

<村田委員長>各委員そういう手順で構わないか。

- ・ 異議出ず

<村田委員長>では、素案たたき台を作った段階で議論を行うこととする。

<委員>条文化するための意見のまとめということだが、あるのは我々の意見だけだ。何か抜けているのではないかという恐れはある。不足するものがあれば行政側で出してもらいたい。

<村田委員長>私達が意見を出し、議論し、作った素案を市役所庁内に流して職員から意見をもらおうとも事務局は考えているようだ。早い段階で広く意見を求めながら、我々も納得できるものを作っていきたい。そこは、工夫を考えねばならない。

<委員>市民より先ず職員に知ってもらわねばならない。もっと参加してもらわないといけない。

<委員>パブリックコメントでは固いイメージになるので広報紙を使って市民の声を求めて欲しい。

<委員>それ以前に我々がこういうことをしているということを知ってもらいたい。

<事務局>活動など広報に掲載したいとは思っていますが、いつにするのかタイミングが問題だと思います。

<委員>市のホームページでこの委員会にたどり着くのが難しい。できることなら、ホームページのトップに載せてもらえればいいのだが。

<事務局>担当の部局と話をしてみたいと思います。

<村田委員長>各委員から色々と前向きな意見をもらった。事務局にはとりかかれることはやって欲しいと思う。次回は9月3日午後1時から開催するが場所は開催案内で知らせてもらいたい。

本日の委員会は以上とする。